

NP0 法人 Learning for All と連携した生涯学習センターにおける若者支援の継続について

令和 5 年度予算に「NP0 法人 Learning for All（以下「L F A」という。）」との連携事業をモデルとした委託料が措置されたため、L F A との連携終了について報告したところである。

しかし、L F A は、大原生涯学習センター周辺の地域や学校、子ども家庭総合支援センター等との連携が進んでいることから、今後の大原生涯学習センターにおける若者支援について協議し、生涯学習センターにおける若者支援の連携を継続することで合意した。

1 L F A の概要

子どもの貧困に対する本質的解決を目的に活動している NP0 法人であり、居場所支援事業、ナレッジ展開事業（子ども支援を行う団体への研修や教材提供）を主に行っている。

代表である李 炯植氏の発言や活動は、様々なメディアにも取り上げられているとともに、多くの民間企業が活動を助成している。なお、令和 3 年 10 月より生涯学習センター連携して若者の居場所づくり事業を実施している。

2 連携の目的

生涯学習センターと L F A が連携して若者支援に取り組むことにより、全ての子どもたちが前向きな気持ちで夢や希望を持つことのできる社会の実現をめざすことを目的としている。具体的には、i - y o u t h 利用者のうち、困難度が高い若者への寄り添い型の支援や、周辺地域や学校との情報交換、必要に応じて適切な支援機関への接続を実現する。

3 事業内容

（1）大原生涯学習センター i - y o u t h における、週 2 日の「居場所支援・登録型寄り添い支援・食料提供」（生涯学習課による事業委託）。

（2）志村一・二中の C S 委員会へのオブザーバー参加。

（3）子ども家庭総合支援センターや大原生涯学習センター周辺学校等との連携促進。

※本事業は「令和 5 年度地域子供の未来応援交付金」の交付申請を行っており、承認される見込みである。

4 今後の予定

4 月：委託業務に関する個人情報保護の手続き（完了）

：令和 5 年度地域子供の未来応援交付金の交付申請

5 月：L F A との協定締結、事業委託契約

以降：活動開始